

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

1年間の留学がカリキュラムに組み込まれていること、少人数制でのディスカッションなどの授業が充実していることから、語学力だけでなく、プレゼンテーション能力も身に付けられると思ったから。

受験勉強の進め方【1学期】

先生方に、「基礎が大事」と教わったので、英語と古文ともに、単語、大法の問題集に繰り返し取り組みました。単語を覚えるとき、高2の頃までは何度も書いて覚えていたのですが、朝昼晩と見る時間を決め、移動時間にも見るなど書かずに目にする回数を増やす方が効果的でした。また、この時期は英語の長文にはほとんど取り組みず、精読をしたり、短文を訳したりして、速く読むことよりも1文1文丁寧に読むことに重点を置きました。

受験勉強の進め方【夏休み】

また、英文法などの基礎が定着しているか不安だったので、夏休み中に基礎を固めることを目標に、1学期に取り組んだ問題集に繰り返し取り組みました。この時期から、英語の長文を1日1題ずつ解くようにして、解けなかった日でも、一度解いた問題を音読するなど、毎日必ず英文を読むことを意識しました。現代文は、一度授業で扱ったものももう一度自分で解き、その際に授業で言われた解き方や、着眼点に気をつけながら解くようにして、授業の復習を丁寧にしました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

9月から、同志社女子大学が配付していた過去問題集に取り組み始めました。問題の傾向を知ることで、入試までどこに重点を置いて勉強するかの対策を立てることができました。また、時間を計ることでしっかり時間配分ができたので、本番も焦らずに解くことができました。過去問を解いて終わりにせず、なぜ解けなかったのか、どこが分かれば解けるようになるかを紙に書き出して、苦手を潰しつつ演習をするようにしました。私は9月から解き始めましたが、一度、夏ぐらいに解いて傾向を知れば、焦らなくすおと思います。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

受験期はだらだらと勉強してしまうことがないように、毎日、何を何時間勉強するか、大まかな予定を立てて勉強するように気をつけました。受験直前期に過去問を解く中で、基礎を重視して勉強してきたはずなのに、基礎的なことが分かっていないことが原因で解けない問題が多いことに気付かずに、自分に焦ってしまい、思うように勉強ができなかった時期がありました。初めは、一旦演習するのをやめて、単語帳や大法問題集をひたすら解きました。新しい教材に手を出すよりも、今まで使ったものを何度も解いて、抜けをなくす方が良かったです。

受験生のみなさんへ

受験勉強に取り組む中で、周りと比較してしまったり、思うようにできない自分に不安と焦りでいっぱいになってしまうこともあると思います。そんな時は、自分を追い込みすぎずに、程よい息抜きをしながら勉強することが大事だと思います。また、ちょっと不安なのはみんな一緒だと思うので、途中で投げ出ししまわずに、自分を信じて最後まで勉強をやめないでください。応援しています！

